

## 守田市長定例記者会見の概要

令和元年6月19日（火）

於：宇城市役所2階庁議室

### 《冒頭発言》

こんにちは。宇城市長の守田憲史でございます。

本年第2回目の定例記者会見を開催させていただきます。

昨日から令和元年第2回市議会定例会が開会されました。報告案件6件、条例案件7件、予算案件1件、工事請負契約などのその他案件12件および諮問案件2件の合計28件を上程しています。

詳細はお手元の報道資料をご覧ください。

本日、私からご説明させていただく発表案件は全部で7件ございます。

### 《報道発表》

#### 【災害公営住宅入居時の初期費用を支援】

まず初めに、宇城市では、熊本地震で被災し、市の災害公営住宅に入居する世帯に対し「生活用具支援券」を7月1日から交付します。

これは、入居時の経済負担を軽減するもので1世帯あたり25万円に相当する額の支援券を交付します。支援券は宇城市内の登録された店舗で利用できるもので、地元の消費喚起を促すものでもあります。

宇城市災害公営住宅は181戸建設しており、来年の2月には全て完成し、5月には入居が完了すると見込んでおります。そのため、支援券の利用期間は令和2年末までとしています。

なお、本件の詳細について、制度に関することは土木部都市整備課へ、支援券の利用については経済部商工振興課にお問い合わせください。

#### 【ふるさと納税電子感謝券のスタート】

2件目でございます。

宇城市では7月1日より、ふるさと納税の返礼品として、電子感謝券の取扱

いを開始します。

電子感謝券は、ふるさと納税で寄附して頂いた方への返礼品として、スマートフォン等の電子機器にポイントとして付与するものです。概要はスクリーンに表示しています。

ぜひ記者の皆様方も宇城市にふるさと納税をお願いいたします。納税していただきますと、携帯電話にポイントが貯まり、ポイントを利用すると宇城市内のゴルフ場の料金が全部無料になるかもしれません。PayPay と一緒に、QRコードがゴルフ場や宇城彩館など宇城市内の店舗にありますので、QRコードをスマホで読み取れば支払いが完了するという方法でございます。宇城市内には4つのゴルフ場があり、ゴルフ場入場税も熊本県下で一番あがっている宇城市でございます。ぜひとも色々ご利用いただけたらと思います。よろしく願いいたします。

付与されたポイントは、宇城市内の加盟店で飲食や体験などに使用することができます。市内でのコト消費につながることで返礼品の送付に比べ宇城市とのつながりをより強く感じていただけたらと考えます。

また、加盟店においては、新たなカードリーダー等の導入は不要で、参加しやすい制度となっております。現在の加盟店数は、6店舗で、準備中が5店舗です。今後、加盟店を増やして、市内でのコト消費の増加や関係人口の拡大に繋げてまいります。

なお、電子感謝券の詳細については、企画部企画課にお問い合わせください。

#### 【光ファイバの整備拡大について】

3件目でございます。

宇城市では、本年度からNTT西日本と連携し、光ファイバの未整備地域である三角町、不知火町の一部及び豊野町全域を対象に光ファイバを整備します。

この事業は、NTT西日本が、総務省及び宇城市の補助金の支援を受けて整備するもので、今後、同社に国庫補助金の交付が決定された後、本年10月を目途に工事が開始される予定です。

なお、整備の完了は、令和元年度末までを予定しており、この整備によって、来年度春頃を目途に、市内のほぼ全域において民間事業者が提供するブロードバンドサービスが受けられるようになる予定です。

なお、詳細につきましては、企画部情報統計課までお問い合わせください。

#### 【宇城市観光振興戦略について】

4件目でございます。

宇城市の観光振興の方向性を明確にするため、この度、「宇城市観光振興戦略」

を策定しました。

本市を取り巻く観光の現状を分析し、目指すべき将来像や目標を定め、観光関連事業者や関係団体、地域住民、行政が一体となって戦略的に取り組む指針や、今後のプロジェクト等を記載しております。

戦略の合言葉は「大切な人と<sup>たの</sup>愉しい宇城」。宇城市が持つ豊かな地域の宝を生かし、大切な人と「<sup>たの</sup>愉しい」と思える時間を過ごしてもらえる観光サービスを提供していきます。

また、「稼げる観光へのギアチェンジ」というサブタイトルをつけ、戦略に基づいた施策を展開することで、観光振興を加速していきます。

なお、本戦略の詳細については、企画部まちづくり観光課にお問い合わせください。

#### 【宇城市復興グランドデザインの策定】

5件目でございます。

宇城市では、平成29年3月に「第2次宇城市総合計画」を策定し、昨年3月には復興に係るハード面での短期的・重点的な取組の方向性を示した「宇城市復興まちづくり計画」を策定し、熊本地震からの復旧・復興に向け様々な重点プロジェクトを推進しています。

これらの施策の推進に当たっては行政、企業、団体、市民がビジョンを共有していくことが重要であるため、この度、中・長期的な視点で官民が連携して取り組む重点プロジェクトの将来像を現した「宇城市復興グランドデザイン」を策定しました。

今後は、このグランドデザインを「復興まちづくり」の戦略ビジョンと捉え、グランドデザインに示す新たな「まちづくり」の実現に向け官民一体となり取り組んでいきます。

なお、グランドデザインの詳細については、企画部企画課にお問い合わせください。

#### 【宇城市における地域商社事業の取組】

6件目でございます。

宇城市には、柑橘類や野菜などの豊富な農産物や加工品があるものの、首都圏への販路拡大やブランド化といった取組は一部の企業が独自に実施しているものに留まり、市全体での取組は弱かったところです。

そのため、本年5月16日、地域の稼ぐ力を強化するため宇城市地域商社推進

協議会を設立し、官民一体となって高品質な農産物や、農水産物加工品の販売を宇城市内外へと拡大しPRを強化していきます。

具体的には、首都圏、関西圏等の百貨店やスーパーへの販路ルートの確立・拡大、既存特産品のブラッシュアップ化、銀座熊本館における「うき物産フェア」の開催などの事業を展開していきます。

なお、本件の詳細については、経済部商工振興課にお問い合わせください。

**【財政調整基金の運用状況について】**

最後でございます。

宇城市では、公金管理方針に基づき、現在11の基金を積み立てており、その運用は定期預金や債券で行っています。

その内、財政調整基金等の3つの基金は、全て平成26年に購入した国債や地方債等の債券で運用し、昨年12月末現在では12億4千万円分を保有していたところです。

本年1月、より高い運用益が確保できるよう市場での流動性の高い債券、額面総額6億円の国債等を売却し、約1億3百万円の売却益を得ました。更に、5月には額面総額6億4千万円の地方債等を売却し、約1億円の売却益を得て、合計で2億を上回る売却益を得ることができました。

本来、基金は特定目的のため財産を維持し、その資金を積み立て、確実かつ効率的に運用しなければならないものです。今般、売却した債権は、元本が保証されたもので、運用による損失のリスクがないものですが、本市では、今後も公金の適切かつ有効な運用管理に取り組んでまいります。

なお、詳細については、会計課にお問い合わせください。

私からの発表は以上でございます。